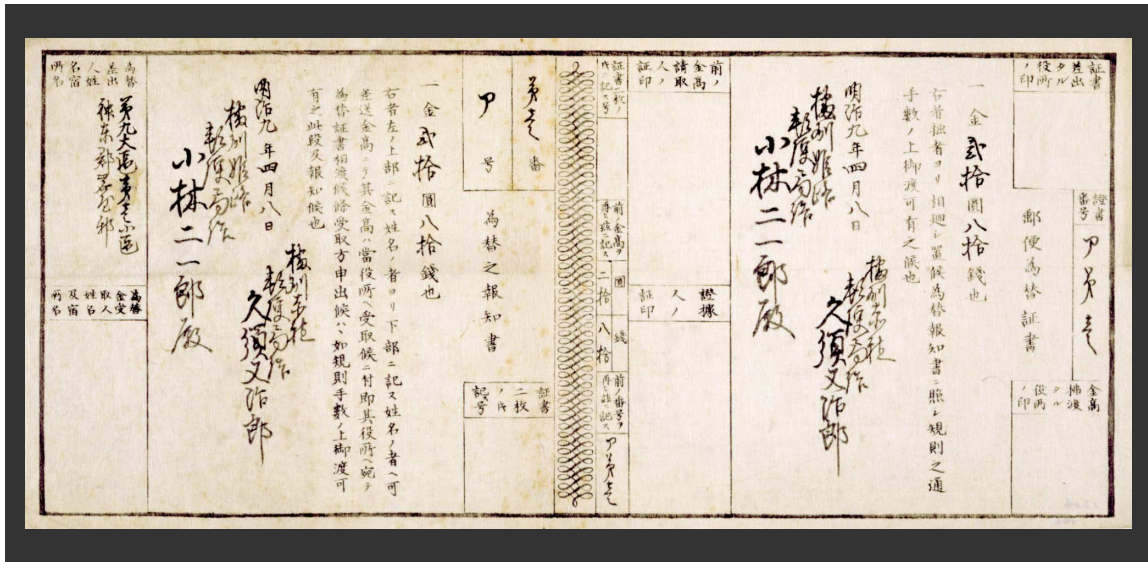


### 創業期の郵便為替証書



前島密は郵便制度を発案したときから送金業務の重要性を感じていました。イギリスで郵便為替の発達した状況を知り、帰国後すぐに検討を始め、明治5年には為替の規則や施行案を作成しましたが、資金難のため実施できませんでした。

明治7年になって資金の都合がつくと、取扱者を集めて為替事務の講習を行い、明治8年1月8日から国内110か所の郵便局で取扱いを開始しました。半年後には取扱数も倍増し、明治期の日本経済の急速な発展に寄与しました。

この写真は、明治9年の郵便為替証書です。

(表紙解説)

東海道五拾三次之内 興津 興津川

河口近くの興津川を馬と駕籠で渡る巡業中の力士を描いている。力士の乗った駕籠は前方を前後に2人、後方は棒を横にわたし2人並んで担いでいるが重そうである。

(資料紹介・表紙解説 附属資料館 井上卓朗)